

2020年度 Aセメスター「物質科学概論」講義日程

テーマ： 大学生だったころの自分に伝えたい物質科学の面白さ

趣 旨：

物質科学の面白さは多種多様である。物質自身の面白さはもちろん、物質を理解するための切り口、物質を調べるための方法の開発、物質をモデル化しその本質を見抜く理論・計算といったように研究者に応じて多面的な見方がある。物質科学概論では、研究者が物質科学研究で面白いと思っている点はどこにあるのか、そしてそれを元にどのような研究が展開されているのか、物質科学コースの12名の研究者がオムニバス形式で紹介する。

時 限： 月曜5限

場 所： オンライン (Zoom) で実施

アドレスはUTASからシラバス参照のこと

日 程

	月 日	講 師	タ イ ト ル
1	9/28(月)	宮島 謙	質量スペクトルで見る金属クラスターの反応
2	10/5(月)	齋藤 晴雄	ガンマ線の波動関数
3	10/12(月)	小島 達央	有機化学で分子をデザインする醍醐味
4	10/19(月)	羽馬 哲也	宇宙における物質進化：星間塵の表面化学
5	10/26(月)	堀田 知佐	物性理論における量子性と相関
6	11/2(月)	池田 昌司	ガラスの物理
7	11/9(月)	久我 隆弘	量子エレクトロニクスってなに？
8	11/30(月)	内田 さやか	空間が主役となる固体物質
9	12/7(月)	塩見 雄毅	トポロジーと磁性
10	12/14(月)	奥野 将成	分子間相互作用とは、化学反応とは何なのか？
11	12/21(月)	深津 晋	いつの時代でも必ずある『物性物理の最終問題』
-	1/4(月)	予備日	—
12	1/7(木)	豊田 太郎	我々は生命を創れるのかー3カ月では生命を創れなかった経験から学んだことー

成績評価の方法：

各教員から出題される計12の課題のうち3つを選択し、レポートを提出すること。

提出期限は各教員が定める。

提出レポート数が3に満たない場合は単位認定の対象とならない。